

● 社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟 会報誌

# JGRA NEWS

MAGAZINE FOR ALL GOLFRANGE

2010年8月号/ No.29

特集

## ゴルフ産業界2015年問題と 現在の状況

■トピックス

スポーツ産業浮揚のカギは「新3K」

■特別寄稿

一般ゴルファーが求める究極のアミューズメントゴルフとは何か  
《新規ゴルファー開拓と困り込みに必要となる経営手法の検討 その2》

ブリヂストンの技術がお客様の要望をカタチにした

# ウレタンツーピース レンジボール **UPS**



〔UPS内部構造イメージ〕

ソフトな打球感と高い耐磨耗性を  
実現するソフトウレタンカバー

## 〈UPSの3つの特長〉

### 1 優れた飛距離性能

高反発コアと中高弾道392ディンプルの採用により、優れた飛距離性能を実現。

### 2 ソフトな打球感

ソフトウレタンカバーを採用し、打球感が非常にソフトなため、体にかかる衝撃が少なく、打ち疲れにくいボールです。

### 3 高い耐磨耗性

サーリンカバーに比べ、耐磨耗性の高いウレタンカバーの採用により、ディンプルの磨耗、マーク・文字の消えに対する耐久性が向上しています。

## 【ブリヂストン レンジボール ラインアップ】

	ボールネーム	ボールフェイス	製品特長	飛距離 (W#1:キャリー)	弾道	フィーリング
ツーピースレンジボール	<b>UPS</b> ツアーステージ ウレタンツーピースレンジ R&A公認球		ソフトな打球感と高い飛距離性能。 耐磨耗性にも優れた 高性能ウレタン ツーピースレンジボール。	230 ヤード	中高	非常に 軟らかい
	<b>NER</b> アルタソフト フィール R&A公認球		サーリンカバー採用のソフトタイプツウ ピースレンジボール。	230 ヤード	中高	軟らかい
	<b>NEH</b> アルタソフト フィール R&A公認球		ゲーム用ボールと同等の高い飛距離性能。 しっかりとした打球感のサーリンカバー ツーピースレンジボール。	235 ヤード	高	レギュラー
	<b>FPR</b> フロートタイプ		ツーピース構造のフロートボール。 ソフトなフィーリングと高い耐久性を実現。	207 ヤード	中高	非常に 軟らかい
ワンピースレンジボール	<b>YXFL</b>		優れた飛距離性能としっかりとした 打球感のワンピースレンジボール。	219 ヤード	中高	レギュラー
	<b>YLFL</b>		高ヘッドスピード領域での飛距離・弾道 を抑制した低弾道タイプのワンピース レンジボール。	202 ヤード	低	軟らかい

※飛距離は、無風状態の時にアマチュアハードヒッタークラスのヘッドスピードで打撃した場合の参考数値です。  
※フィーリングは、ツーピースボールは「NEH」を基準に、ワンピースボールは「YXFL」を基準にして表示しています。



# 会長挨拶



社団法人  
全日本ゴルフ練習場連盟  
会長 境野 匡

盛夏の候、会員の皆様には於かれましては益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

さて私境野は、平成19年会長職を拝命して以来本年度で2期4年目を数え、連盟も来年11月には設立20周年の節目の年を迎える事と相成りました。本年度も、皆々様の御支援御協力により各年度事業計画を大過なく推進展開が出来大変喜ばしい事と存じます。

ここに改めて会員皆々様に厚く御礼を申し上げます。

しかしながら、我々ゴルフ業界を取り巻く環境はグローバルな経済不況と相まって依然として厳しく大変なる苦戦を強いられて居りますのが現状であります。

我々JGRAは、このゴルフ界の低迷を打破して更なる活性化に寄与すべく会員が一致団結してリーダーシップを発揮し、当連盟本年度の事業計画を強力に推進していく所存です。

どうぞ本年も宜しく御指導御鞭撻をお願い申し上げます。  
会員皆様の御多幸と御隆盛を祈念致します。

## 第19期JGRA通常総会

平成22年6月8日(火) 仙台国際ホテルにて第19期JGRA通常総会が開催されました。冒頭、事務局より出席者報告があり、東北支部柴山支部長の開会宣言のもと総会が開会されました。

続いて境野会長より出席への謝辞と開会挨拶が行われ、順次議事に入りました。

<会員数：454名 本人出席者数：27名 委任状出席者数：208名 計235名>

- 第1号議案 平成21年度(第19期)事業報告の件
- 第2号議案 平成21年度(第19期)収支報告の件
- 第3号議案 平成22年度(第20期)事業計画書案の件
- 第4号議案 平成22年度(第20期)収支予算書案の件
- 第5号議案 役員異動の件

議案事項は担当部門長及び委員会委員長より報告され、審議の結果、それぞれ異議なく満場一致にて承認されました。報告事項を交え、5つの議案審議が終了し、滞りなく総会を終了することができました。

総会終了後の懇親会では、普段会う事が少ないゴルフ関連団体・関係者の方々とも貴重な時間を過ごす事が出来、有意義な懇親会となりました。翌日には利府ゴルフ倶楽部にて懇親ゴルフ会が開催され、和やかな雰囲気の中、プレーが行われました。





特集

# ゴルフ産業界 2015年問題と 現在の状況

ゴルフ市場活性化委員会  
マーケティング広報委員 山岸 勝信



ゴルフ市場活性化委員会が少子高齢化・人口減少によるゴルフ産業需要の連続減少が顕著になる「2015年問題」を最初に提起したのは2007年です。最近ゴルフ産業以外の衣食住・国内生活産業全体でも人口減少による需要縮小傾向が次第に明確になってきました。さらには日本経済の中心であった自動車産業でさえ、所得低下による「若者の自動車離れ」を懸念しています。

しかし現時点でゴルフ産業はまだ恵まれていません。団塊の世代がリタイアし、ゴルフ需要を押し上げているからです。彼等も2015年以降には70歳を超え、フィジカル面でゴルフリタイアを余儀なくされます。また最近大都市で目立つ女性ゴルファーブームや、強いプロゴルファーの登場により惹起されたジュニアゴルフブームも地方ではさほどではなく、日本全体としては女性・ジュニアともにゴルフ参加率は決して大きく上昇していません。

2015年問題の解決は有る意味では、人口減少による需要減を補ってあまりある「ゴルフブーム」を出現させる事です。ゴルフ人口が急増し、練習場に打席待ち客が溢れ、セットクラブが飛ぶように売れ、ゴルフ場のスタート予約が取りにくい・・・そんなゴルフブームが必要です。過去にも出現したこのようなゴルフブームは、どのようにして始まり、どのように進行してきたのでしょうか？その一断面記録

であるレジャー白書1985年以降のゴルフ参加希望率・ゴルフ参加率推移を<グラフ1>に表示しました。

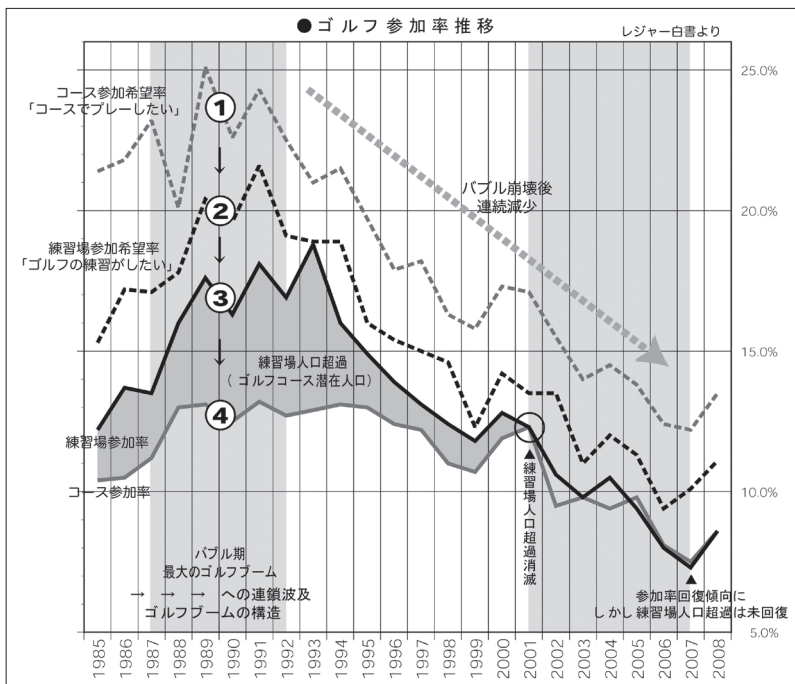
過去最大のゴルフブームはなんと言ってもバブル期です。

(1) ①ゴルフ参加希望率、②ゴルフ練習場参加希望率、③ゴルフ練習場参加率、④ゴルフコース参加率が鋭いカーブで上昇しました。しかも常に(1985年以前を含めて)①>②>③>④の不等号関係が成立していました。

(2) バブル崩壊後、2007年まですべてが連続減少しました。殊に2002年にはそれまで常にコース参加率を超過していた③練習場参加率が④コース参加率と同一レベルに落ち込んでしまいました。練習場参加率超過(ゴルフコース潜在需要)が消滅したのです。この時点でゴルフブームは終了したと言えます。

(3) 2007年以後、漸くすべての参加率が反転上昇しましたが③練習場参加率は④コース参加率を超過できていません。2002年に練習場参加率超過(ゴルフコース潜在需要)が消滅したままなのです。この3年の参加率回復はまだゴルフブームではないと結論できます。

<グラフ1>



このようなゴルフブームの構造や生成のメカニズムは、ゴルフ練習場に極めて重要な指針を与えてくれます。日本では①ゴルフ参加希望率(ゴルフをしてみたい)が上昇すれば必ず②ゴルフ練習場参加希望率(コースに出るにはまず練習したい)が上昇し、次いでゴルフ練習場に客が増える(ゴルフ練習場参加率)ということです。ゴルフ練習場が満員盛況にならない限りゴルフブームは絶対に始まらないのです。ゴルフブーム開始点・ゴルフ希望参加率の上昇は「ゴルフに対する憧れの高揚」であり、ゴルフ練習場業界の独力で惹起

されるものではありません。しかし以下3点でゴルフ練習場は新しいゴルフブームの生成発展に重要な鍵を握っています。

<第1点>

### 水際でゴルファーにならんとする生活者をゴルフ練習場しっかりと捉えること

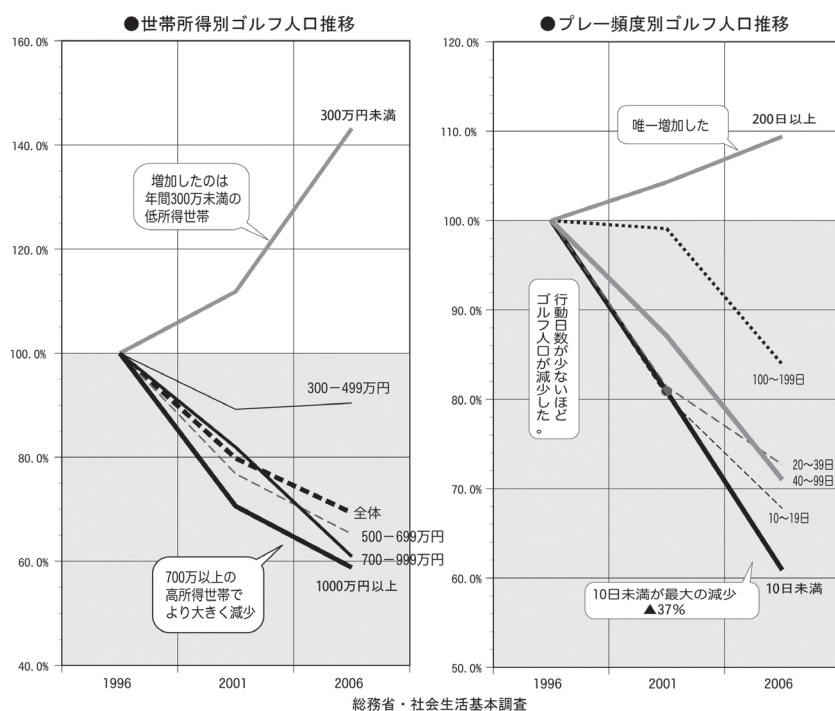
ゴルフ参加率希望上昇したら、必ず、まず最初にゴルフ練習場に需要が発生する。これはゴルフというスポーツの特徴ですが、とりわけ日本人の特質である「習い事文化」にも深く根ざしています。ゴルフ練習場がゴルフ産業需要の水際でゴルファーにならんとする生活者をしっかりと捉えることがゴルフ産業全体の浮沈に影響するのです。

<第2点>

### 誕生したライトゴルファーをゴルフ練習場が確実にヘビーゴルファーに進化させること

バブル期以降のゴルフブーム消滅過程（1996～2006年）でゴルフ人口は521万人も減少しました。

<グラフ2>



その内容を<グラフ2>としました。ゴルフをやめた理由は「所得の大小」ではなく「プレー頻度の少ないライトゴルファー」であるのが明白です。ゴルフ産業界はブームのさなかでも大量に新規ゴルファーが生まれ、大量にゴルフ市場から立ち去らしめていたのです。経済状況が変化しても生活におけるゴルフの優先度が高いヘビーゴルファー化のポイントは「100を切らせる」ことです。そのためにはゴルフ練習場でショートゲーム、パッティング、ホールマネジメントを楽しく習得させる環境（ハード&ソフト）の充実が求められます。また100切りへの動機付けとなるイベント開催や、達成者へのチアリングも必要です。

<第3点>

### ゴルフ練習場内「ゴルフ+ワン」のミニグループ形成

筆者はバブル期のように日本人の25%もが「ゴルフをしてみたい」と憧れるような社会現象は二度と起きないと確信しています。職場単位、組織系列単位で多数がゴルフへ吸引されることはもうあり得ません。また会員制ゴルフ場システム・メンバーによるクラブ組織はすでに形骸化が始まっています。これから永くゴルフを楽しむのは少人数の集団が主体で、共通ワードが「ゴルフもするが〇〇も一緒にする」でないでしょうか？その意味でも遠くはなれた「コース（カントリーリゾート）」ではなく、「生活に近い（アーバンリゾート）」であるゴルフ練習場が鍵を握っています。



#### 山岸 勝信 (ヤマギシ カツノブ)

1944年石川県金沢市出身

金沢大学法文学部経済学科卒業、

キャスコ（株）ボール事業創設に携わる。1995年マーケティング企画事務所を設立、ゴルフ産業需要分析・将来需要予測を主たるドメインとする。フィールドデータ分析に立脚した予測・提言に定評を得ている。

現在ゴルフ市場活性化委員会・マーケティング広報委員

# 委員会活動報告

総務部 (部長 古賀 正隆)

調査研究安全基準委員会 (委員長 古賀 正隆)

## ①施設安全使用のアナウンステープを作成

施設内の安全使用を促すアナウンステープを作成しましたので必要な方は、事務局まで御連絡下さい。

## ②場内対策・災害対策ポスターの作成

本年度もゴルフ練習場の場内対策・災害対策を促すポスターを来年1月に作成する予定です。ポスターに掲載したい内容がありましたら事務局まで御一報ください。

【過去制作ポスター・ステッカー一覧】

年度	品名	掲載内容
平成 16 年度	台風時注意事項ステッカー	台風時の注意事項 (全8項目)
平成 17 年度	安全啓発ポスター	打席での携帯・喫煙・会話の注意
平成 18 年度	安全啓発ポスター	特に注意!長尺クラブ
平成 19 年度	安全啓発ポスター	練習場にもゴルファーとしてのマナーがある
平成 20 年度	分煙啓発ポスター	たばこは喫煙所で
平成 21 年度	安全啓発ポスター	・ゴルフ談義は小さな声で ・前後左右の安全確認は忘れないように

渉外・広報部 (部長 恒藤 光夫)

## I 組織強化委員会 (委員長 横山 雅也)

当委員会は社団法人スポーツ健康産業団体連合会調査研究委員会の一員として活動しており、昨年度には「多様化するスポーツ健康市場における新たなビジネスモデルのあり方に関する調査研究」を主題に委員会を発足し活動しました。

「スポーツ」と「ゲーム」を融合したものを「カジュアルスポーツ」と称し、「カジュアルスポーツを活用したスポーツ人口拡大へ向けて」をテーマに「カジュアルスポーツ」を「新しい市場」の萌芽ととらえ、どのような芽を発展的に伸ばしていけるか、事業者・消費者双方の現状とニーズを明らかにしながら、スポーツ人口拡大に向けたアイデア・ビジネスモデルを作成し、潜在的な消費者ニーズに応えたカジュアルスポーツの活用方策を探りました。活動結果報告につきましては下記アドレスより報告書をダウンロードしてください。

⇒ [http://www.jsif.or.jp/others/pdf/h21chousa\\_kenkyu.pdf](http://www.jsif.or.jp/others/pdf/h21chousa_kenkyu.pdf)

**新発売**



従来品メタハラと同じ明るさで  
**電気料を約60%カット!!**

従来のメタルハライドランプとの比較。全灯をLEDに交換し、メタルハライドランプの消費電力1kwと比較した場合。

## 従来品メタハラと同等の明るさで 省エネ・長寿命(5万時間)の 超高出力400W LED投光器

直進性の光でフェアウェイを効率よく照らし、漏れ光を抑制。周辺環境にも配慮できます。  
(しかも誘虫性を大幅に軽減。)

スナガ開発は、ゴルフ練習場の新設・リニューアル・インドア、付帯設備などマルチに対応し、革新に取り組んでいます。

**ニューマシン 続々登場!!**

禁COMPUTEE。  
全システム対応



テ最大100mmまで



超薄型



越谷ゴルフリンクス

未来をひらく  
**スナガ開発株式会社**

本 社 / 〒326-0333 栃木県足利市間屋町1160-5 TEL.0284-72-8181(代) FAX.0284-72-8185  
関 西 支 店 / 〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目14-35大阪屋北5号館504号 TEL.06-6302-8181 FAX.06-6307-7227  
E-mail : formmail@sunaga-g.com URL : <http://www.sunaga-g.com>

**NEWS** 新型カードリーダー開発!!  
◇従来のカードリーダーも継続中!

■オートティーアップマシン  
「コンピューティィー・シリーズ」

■スーパーロングティーアップマシン  
最大100mmまでティーアップ!!

■超薄型ティーアップマシン  
SK-120 SK-200

## Ⅱ ゴルフ練習場経営研究委員会（委員長 加藤 賢治）

平成 22 年 2 月 19 日（金）東京ビッグサイトにて事業部と協力して「2010 JGRA ゴルフ練習場ビジネスセミナー」を開催しました。下記テーマをもとに講師による基調講演と、JGRA の研究内容をメインに発表をしました。本年度も実施に向けて準備をしておりますので是非皆様御参加下さい。

- ①「日本最多のゴルフ場を運営するアコーディア・ゴルフが行うゴルフ練習場の取組みとゴルフ練習場ビジネスの将来像」  
講師：株式会社アコーディア・ゴルフ 常務執行役員 練習場事業部長 谷口 博次氏
- ②「テニススクール生 13,000 名を有しているテニス事業者が行ったインドアゴルフスクールの成功事例とゴルフスクールビジネスの将来性」  
講師：株式会社レック興発 代表取締役 新堀 丘氏
- ③「ゴルフ練習場の現状と将来に向けての取組みについての研究報告及び意見交換会」（連盟の活動内容、今後の取組み、練習場市場の動向等）  
講師：（社）全日本ゴルフ練習場連盟 専務理事 横山 雅也

名 称：2010 JGRA ゴルフ練習場ビジネスセミナー

開 催 日：平成 22 年 2 月 19 日（金）16：00～18：00

会 場：東京ビッグサイト会議棟内 605 会議室

参加人数：91 名

本年度も実施に向けて企画提案をしておりますので是非皆様御参加下さい。



## Ⅲ 広報委員会（委員長 北岡 利昭）

広報委員会では、「JGRA の認知拡大」「会員皆様とのコミュニケーション」「ゴルフ関連団体との連携」の充実を図ると共に、ゴルフ業界に於ける活性化に努めております。本年度も下記三項目を中心に活動を推進していく所存です。

- ①会報誌 JGRA ニュース発行（年 2 回発行 平成 22 年 7 月、平成 23 年 1 月予定）
- ②事務局だよりを毎月発行（年 12 回発行）
- ③ホームページの充実を図るためにリニューアル作業を進める。

## Ⅳ 社会貢献活動委員会（委員長 大東 将啓）

ゴルフ練習場が行うべき社会貢献活動を模索するために日本ゴルフサミット会議を中心に他団体との情報交換や委員会での協議を重ねております。今後はゴルフ練習場のみならずゴルフ関連団体が一体となり活動できる社会貢献を展開したいと考えております。また現在加盟しております NPO 法人グローバル・スポーツ・アライアンス（GSA）には、法人サポーターとして環境保護を意識したフェアプレーの提唱に協力していく予定です。

NPO 法人グローバル・スポーツ・アライアンス（GSA）

<http://www.gsa.or.jp/index.shtml>

# 革新の特許と豊かな実績を糧に、練習場の世界を広げます。



▲打席工事

スカイボール21 (50M鋼管柱)▶

私たちは練習場造りの職人集団です。  
自信の技術で練習場を100%サポートします。

### ゴルフ練習場

- ネット工事 ●打席工事
- ボール集配給システム ●人工芝
- 鉄塔塗装工事 ●照明工事 ●造園工事

一級建築士事務所 東京都知事 第39810号  
建設業許可番号 東京都知事(般)第31792号

## 第一ゴルフ工事株式会社

〒158-0081 東京都世田谷区深沢7丁目18番23号

TEL : 03-3702-3136 FAX : 03-3702-3138

E-mail : yoneyama@d-g-k.com

<http://www.d-g-k.com>

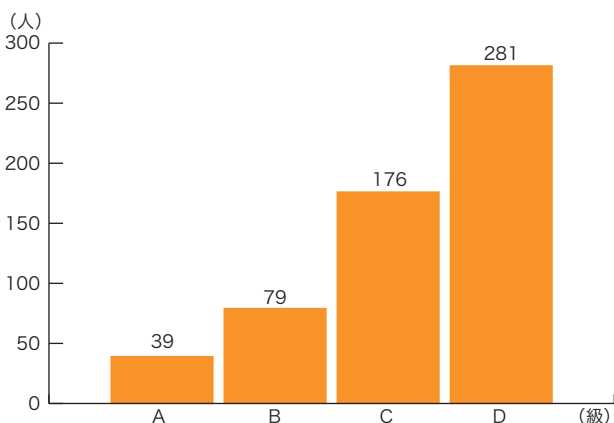
## V ジュニアゴルファー育成委員会（委員長 横山 雅也）

### ①ジュニアゴルファー検定制度

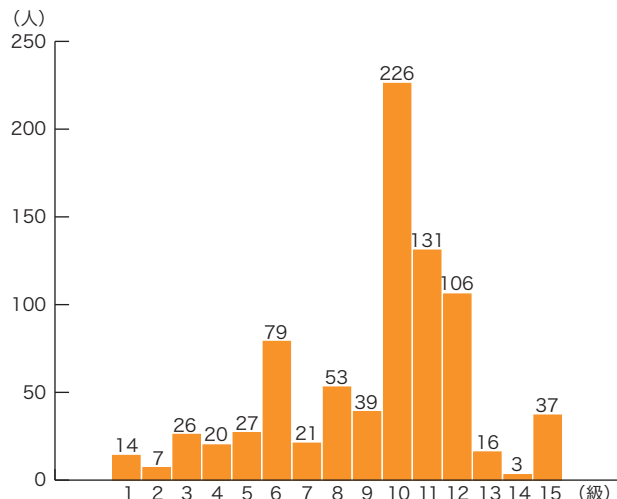
平成17年に発足したジュニアゴルファー検定制度も5年目を迎え、検定会の様子が各メディアにも取り上げられるようになり、ゴルフ業界に於いても順調に制度の普及と定着が進められている事が伺えます。平成22年3月31日付けでの集計では、ペーパーテスト取得者は575名、実技級取得者は805名、認定事業場も62場、検定委員202名となりました（図A、B参照）。

これも一重に皆さまの御協力と御支援の賜物だと厚く感謝致します。今後も制度の充実を心掛け、ペーパーテストの改定や制度の受け入れ態勢の見直しなど、より広く浸透しやすいシステムを構築する予定です。プログラムの導入や実施を希望される事業場の皆様を募集しております。資料請求や質問については事務局までお問い合わせください。

図A ペーパーテスト級取得者数（平成22年3月現在）



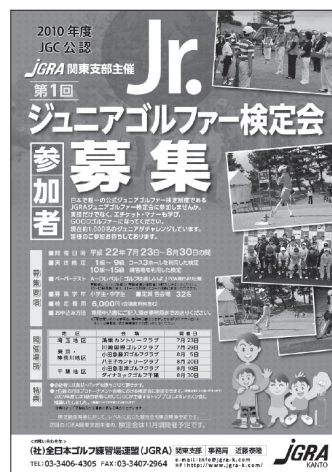
図B 実技級取得者数（平成22年3月現在）



また本年度は支部単独での検定会開催を目標に、まずは関東支部で下記要項にて開催する事が決定しております。これを足掛かりに全国各支部でも検定会の単独開催を目標に本部としてはサポート体制を整えていく所存です。

【JGRA関東支部主催第1回ジュニアゴルファー検定会】

地区	会場	開催日
埼玉地区	鴻巣カントリークラブ	7月23日(金)
東京・神奈川地区	川崎国際ゴルフクラブ	7月29日(木)
	小田急藤沢ゴルフクラブ	8月5日(木)
	八王子カントリークラブ	8月20日(金)
千葉地区	小田急志津ゴルフクラブ	8月10日(火)
	ダイナミックゴルフ千葉	8月30日(月)



### ②ジュニアゴルファー登録制度

各支部の協力のもと、ゴルファーの底辺拡大を目的にジュニアゴルファー登録制度の普及、整備、充実化を行いました。昨年度に比べ中部地区の協力練習場20場・登録人数1,758人の退会に伴い、合計数が減少する結果となりましたが、支部単位で見るとほとんどが増加傾向にあり、順調に制度の普及が進んでいることが見受けられます。

支部・地区	平成21年度		前年度比	
	協力練習場数	登録人員	協力練習場数	登録人員
北海道	2	124	0	8
東北	6	228	0	25
関東	34	3,434	-10	356
関西	31	2,950	1	409
中四国	0	0	0	0
九州	14	191	0	0
中部	1	67	-20	-1,758
合計	88	6,994	-29	-960

平成22年3月31日付

## 事業部 (部長 川波 博)

### I 事業推進委員会 (委員長 川波 博)

#### ① 第44回ジャパングolfフェア2010開催報告

##### 過去最高の来場者5万人の突破!!!!

平成22年2月19日(金)から21日(日)に開催された第44回ジャパングolfフェアは大盛況のもと、終了する事が出来ました。

来場者数は50,876人(図1参照)を記録し、過去最高の動員数となりました。JGRAが主催する「ゴルフ練習場関連コーナー」では、来場者にJGRAを知ってもらい、出展会社には付加価値のあるサービスを提供する事を目的に下記イベントを開催しました。



#### スタンプラリーを実施

出展会社ブースへの来場促進を図るためにスタンプラリーを企画し、出展25社のスタンプを集めることでビンゴに参加できる抽選会を開催しました。抽選会では「ヤード測定機」や「ゴルフクラブ」など、豪華賞品を取り揃え、子供から大人まで多くの来場者に楽しんでもらいました。



#### オリジナルグッズ販売コーナーを設置

最新ゴルフウェアやトレーニンググッズを取り揃えたオリジナルグッズ販売コーナーを設置し、販売会を開催しました。販売会の開催は初めての試みであり、当初は売れるかどうか不安でしたがそれは杞憂に終わり、最終日には、品物がなくなるほどの盛況ぶりでした。

売り上げの一部はゴルフ業界活性化を目的としたチャリティー基金に寄付をし、ゴルフ業界の発展に貢献をしました。



#### 商談コーナーの設置

出展会社の「今この場で商談を!!!」のニーズに応えるためにJGRA商談コーナーを設置しました。商談スペースには机と椅子を用意し、利用者に無料コーヒーを振舞いながら円滑に商談が進むように協力をしました。



出展して頂いた25社の皆様、そして来場者促進のためにノベルティを協賛してくださいました賛助会員の皆様、誠に有難うございました。現在委員会ではフェアでの課題や来場者からの要望をまとめ上げ、改善を重ねていく所存でございますので是非ジャパングolfフェアに足をお運びください。皆様の御来場を心よりお待ち申し上げます。

(図1)「第44回ジャパングolfフェア2010」入場者数

	ビジネス関係者	一般来場者	報道関係者	合計
2月19日	13,596	8,153	399	22,148
	14,572	4,239	431	19,242
2月20日	4,361	15,032	116	19,509
	5,379	14,528	149	20,056
2月21日	839	8,318	62	9,219
	814	5,989	34	6,837
合計	18,796	31,503	577	50,876
	20,765	24,756	614	46,135

※下段は昨年の来場者数(単位:人)

出展会社一覧 (順不同)

No	会社名
1	ツカモトエム株式会社
2	株式会社ノムラゴルフプロジェクト
3	アイリスソーコー株式会社東京営業所
4	株式会社BALANCE工房
5	プリヂストンスポーツ株式会社
6	ジェイエッチシー株式会社
7	プレジデントリゾート軽井沢
8	東京ゴルフ専門学校
9	株式会社銀座ゴルフサービス
10	中央砂糖株式会社
11	創機工業株式会社
12	株式会社オニット
13	喜和産業株式会社
14	イガラシ機械工業株式会社
15	リゾートソリューション株式会社
16	コスモイーシー株式会社
17	スナガ開発株式会社
18	日本ナレッジ株式会社
19	第一ゴルフ工事株式会社
20	池本車体工業株式会社
21	ケーディースポーツ株式会社
22	昭和の森ゴルフコース
23	株式会社セガ
24	日本シー・イー・ディー株式会社
25	日本製麻株式会社

#### ② 2010JGRA ゴルフ練習場ビジネスセミナー

ゴルフ練習場経営研究委員会と協力して「2010JGRA ゴルフ練習場ビジネスセミナー」を開催しました。5年ぶりの単独セミナーの開催に一抔の不安がありましたが当日は91名の参加者が集まり、ゴルフ練習場経営者、レッスンプロ、メーカー以外にゴルフ関連団体からも多数申し込みがあり、各方面より当セミナーが注目されていることを実感しました。詳細は「ゴルフ練習場経営研究委員会」をご覧ください。



#### ③ 第45回ジャパングolfフェア2011

第45回ジャパングolfフェアが下記要項にて開催されます。昨年度に引き続き本年度も出展会社・来場者の皆様に喜んで頂ける企画を準備しております。お問い合わせにつきましてはJGRA事務局までお問い合わせください。

- 開催日:平成23年2月18日(金)~20日(日)3日間
- 場 所:東京ビッグサイト商業棟
- お問い合わせ先:03-3486-0753

## II 指導競技委員会（委員長 大東 将啓）

### ■第49回全日本ゴルフ練習場連盟研修会会員選抜大会

平成22年4月21日（水）那須野ヶ原カントリークラブにて第49回（社）全日本ゴルフ練習場連盟研修会会員選抜大会を開催しました。

当日は晴天にも恵まれ絶好のゴルフ日和となり、日頃の練習成果を試すべく全国各地より133名（東北3名、関東126名、中部4名）の参加者達が集まりました。コンディションが整った環境もあり好スコアが連発する中、優勝には中込憲選手（関東支部）、準優勝には岡地直紀選手（関東支部）、3位には柳橋正人選手（関東支部）という結果になりました。

表彰式では境野会長の挨拶があり、続いて上位30名に賞状と賞金が授与され関東支部石井副支部長の閉会挨拶の後、無事閉会となりました。

#### 第49回全日本ゴルフ練習場連盟研修会会員選抜大会成績表

順位	氏名	成績			支部
		OUT	IN	GROSS	
優勝	中込 憲	36	34	70	関東支部
準優勝	岡地 直紀	34	37	71	関東支部
3位	柳橋 正人	33	38	71	関東支部
4位	羽生 淳一	37	35	72	関東支部
5位	坂上 陸郎	34	38	72	関東支部



優勝／中込 憲 選手のコメント

### 優勝の喜び

まず始めに今回、全日本選抜で優勝出来たのは、今まで沢山の人の支えられ応援して頂いたからです。

この場を借りてお礼を申し上げます。

今回の優勝は練習場連盟に入会させて頂き初めての試合だったので大変嬉しく思います。

私はいつも練習の時でも一球一球しっかり気持ちを込めて真剣に打つ事を意識しています。

私は日々、トーナメントに出れる様に練習しています。

最近石川遠くんをはじめいろいろなプロのお陰で日本の男子ゴルフ界も人気が出てきました。私も早くその中に混じりゴルフ界を盛り上げたいと思いますのでこれからも応援よろしく願っています。

最後にゴルフ界を支えて頂いている全ての方々へ感謝します。ありがとうございます。



準優勝／岡地 直紀 選手のコメント

### 全日本選抜大会を終えて

4月21日、試合当日の朝、那須野ヶ原カントリークラブに到着し車のドアを開けた瞬間まず風の強さに驚いた。「やばい」「難しい」まずそう思った。

同時に「条件が悪くなればなる程自分にとっては有利だ」と正直に思った。

今年の3月に40歳になり、中学2年から始めたゴルフ歴も25年を越え、参加している選手達よりも経験値はずいぶん上だと思う。

レンジでの練習、パッティングの練習が終わるころにはかなりの風が吹いていた。

スタート前自分に当日のテーマを2つ与えた。

1つ目はピンの手前につける事。

2つ目は最後まで絶対にあきらめない事。

この2つが出来れば優勝できると思いスタートした。

前半ラッキーなどもあり、予定よりも良く、2アンダーでターンした。

折り返した那須の1番2番で連続バーディーをとり4アンダーになったとたんにすべてがうまくいかなかった。

スタート前、アンダーバーなら、もしかしたら勝てると思っていたので4アンダーの時点で少し調子に乗ってしまったのだろう。慢心もあったと思う。

そこから3ボギーを打ち、結果2位だった。

ボギーはやはりピンの上につけた3パットと後半うまくいかない自分のゴルフにいら立ち集中力が低下したことが敗因だった。

結局はスタート前の決め事が守れなかった。

ホールアウト直後は落ち込んだが今は次の研修会でまた頑張ろうと思いつつ練習に励んでいる。

ここまで自分自身の気持ちの弱さをアピールしたところで、この場を借りて1つ研修会員の皆様に協力、お願いがあります。

もちろん全員ではありませんが、最近スロープレーが目立っています。

研修会、試合は分りますが、いくらなんでもハーフ2時間半以内では回りませんか。

成績順組合せという事もあり、毎回最終組の辺りでプレーしていますが、時間通りにスタート出来たためがありません。

遅れるどころか30分オーバーは当たり前です。

レギュラーツアー数試合、チャレンジツアーは60試合くらいでしたが、こんな事は一度もありませんでした。上の試合に行けばいくほど余分な手間もなければスイングの無駄もありません。目指す以上、プロである以上、そういう部分をもう少しみんなで頑張っていきましょう。優勝した中込君、おめでとうございます。

すばらしいコースを提供して下さいました那須野ヶ原カントリークラブの方々、本当にありがとうございました。来年は絶対に勝ちたい。



3位／柳橋 正人 選手のコメント

### ゴルフのできる喜び

ここ数年、怪我で思うようなゴルフができず、3月頃からようやく練習らしい練習を始めた私にとって、このような結果を残せたことは、何よりゴルフに対する自信回復になりました。今大会は、スイングの善し悪しということより、体に痛みを感じることなくプレーできたことに喜びを感じながらラウンドすることができた分、ミスをしていつもより冷静だったことが今回の成績につながったのだと思います。

振り返れば、20代の頃は特に身体のケアをしなくても、毎日何時間も当たり前のようにクラブを振ることができました。しかし、30代後半から身体の色々な部位に違和感をおぼえ始め、さらには首に鈍痛を感じ、思うようなスイングをすることができなくなり、満足のいく結果が出せない日々が続きました。そのため、心理的にも大きなダメージも受けました。しかし、自分の身体・体力にあったスイングが分かり始めると、徐々に痛みが薄れコンスタントに日々の練習を行えるようになりました。身体に痛みがなくゴルフができることが、こんなにも嬉しいとは…。

今後は、これを機に、もう一度ツアーの試合に出られるようトレーニング等の練習を日々しっかり行くとともに、私がレッスンしている生徒さんや教え子の見本や目標となるよう頑張っていきたいと思っています。そして、一人でも多くの人に、ゴルフの楽しさ、喜びを伝えられればと思っています。

優秀指導者表彰制度

第5回優秀指導者制度の最優秀者の表彰式が平成22年6月8日(火)仙台国際ホテルにて行われました。今後も当制度の充実、改善を行い、ゴルフ練習場で働く人材の意欲を高め、その活動が広く周知されるよう努めたいと思います。



宮城ゴルフガーデン／藤山 乾太

優秀指導者賞

この度は「優秀指導者賞」を頂き、誠にありがとうございました。身の引き締まる思いと共に周囲の方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

表彰式が始まるまでは挨拶の心配ばかりでしたが、終わって席に戻ると、中四国支部の方から「良かったよ。」と声を掛けて頂き、その瞬間に受賞の喜びを改めて実感しました。

懇親会での東北福祉大学川崎菊人ゴルフ部コーチの『東北高校時代の宮里 藍プロをはじめとする女子プロ達の秘話』は、とても印象的で楽しく拝聴しました。

今後も『お客様に練習を継続してもらい、上達して喜んでいただきたい』を目標に頑張っていきたいと思います。



ニッケゴルフ倶楽部 京口センター／寺本 明寛

優秀指導者賞

この度、(社)全日本ゴルフ練習場連盟の優秀指導者表彰制度で優秀賞を頂き、心より御礼申し上げます。このような賞を頂けたことは大変嬉しく思い、今後の活動において自信にも励みにもなります。

指導者として大切なことは、人との信頼関係をいかに構築していけるかと感じています。ひとりひとりの個性や特徴、悩みなどを共有できる雰囲気を作っていかなければ、本当に信頼される指導者として周知していただけないように思います。

その為に、必要なスキルを常に模索し、勉強しながら成長していきたいと思っています。



YGS／浦本 清彦

優秀指導者賞

この度は、関東支部にて優秀指導者として推薦頂き誠に有難うございました。

第一声が、私でよろしいのでしょうか？でした。私の座右の銘は、七転び八起きです

何度も何度も転びましたが、その度立ち上がり前に向かって行った結果でしょうか。

大変感謝しております。

今後もチャレンジ精神を忘れずに、今日よりも明日では無く今日を精一杯頑張る事。

誰にでも公平に感謝の気持ちをわすれずに、自分にして貰いたい事を相手にする。

仲間を大切に、まわりから目標とされる自分になれるよう、揺るがない信念をもち、この賞を励みにこれから先何度も転ぶと思いますが、その度立ち上がりさらに精進してまいりたいと思います。



Ⅲ 資格認定委員会 (委員長 柴山 忠雄)

「JGRA プロフェッショナル」資格認定制度は、「ゴルフ業界で働きたい・ゴルフ専門化になりたい」ゴルファーの一助となるべく制度の改善及び充実化に努めております。

平成21年度には5名が取得し、取得者の合計は53名となりました。

現在、支部・他団体との連携を密にし、全国規模での普及活動を推進しております。尚、制度の詳細については、各支部にお問い合わせください。

「JGRAプロフェッショナル」資格認定制度概要

- 名称:「JGRAプロフェッショナル」資格認定制度
- 主管:資格認定委員会
- 主旨目的:会員研修生の付加価値向上と資格認定団体としてJGRA周知明確化を図る
- 対象者:会員研修生
- 認定条件:①研修会5年以上所属 ②各支部支部長推薦者 ③各支部主催研修会成績優秀者

# 私の経営方針

## 鴻巣ジャンボゴルフセンター

支配人 吉川 義隆

### ■ 鴻巣ジャンボゴルフセンター

住所:〒365-0011 埼玉県鴻巣市新井745-2

TEL: (048) 569-2351 (代) FAX: (048) 569-2494



## 練習場の安全対策は 余計な出費を省く



私は子供の頃父親と秩父の山林で杉の苗木を育てておりました。

父は私が大きくなったら、この杉の木で家を建てるのだと言いながら杉の枝卸をした事を思い浮かべました。

それから、10年経過し山の土質が良い事から杉も大木へと成長致しましたが、その3月の春の事でした。

今年の3月に降った雪質と同じものが成長した杉に覆い被さり全面折れ倒壊してしまったのです。

これじゃ家が出来ないよ...と大声で泣きました。

汗水流し一生懸命育てた杉が目の前で一瞬に倒壊してしまったのですから。

出来ない話だが、広大な山に傘でも掛けられたら杉は倒れなかったのにとつぶやいた。

さて、本題に入りますが、今年の3月9日に降った春雪は口では言いあらわせないほど雪質が重く各地で練習場のネット、ワイヤーを破損切断といった大被害がありました。

被害を受けた練習場は春雪の恐ろしさをしていてのか春雪をあまくみていたのかな。

練習場は復旧まで約10日間も休場し改修工事を行ったそうです。

「春雪は重い」練習場経営者に再度認識してもらいたいものです。

私は、年間を通じインターネットで詳細までわかる天気予報を毎日注意して見ております。

このような事から、3月9日の雪の時も即対応し事故を防いでおります。

除雪作業手順も早朝フェアウエイが凍っているうちに積雪の多い箇所から融雪剤を散布致します。

朝日と共に融雪剤がききネット上の雪を溶かしてくれるので他の練習場より早く営業をする事ができます。

さて、当センターはオープンしてから来年で早20年を迎えようとしております。

今迄は大きな事故も起こさず無難に営業も推移して参りましたがこの2月から急に不景風も押し寄せ大変厳しくなりました。

昔から選挙のある年は、練習場は厳しいといわれておりますがこれからも営業努力すると共につまらない経費を掛けぬよう自ら週に2~3回場内に入り集球等を行いながら人工芝の破れやU字溝内の流水正常化等の確認に努めて参ります。

このような仕事を同行する社員達も現場での実践で作業内容を覚え、次の世代へとバトンタッチするのです。

## 他団体連携活動報告

## 日本ゴルフサミット会議（ゴルフ関連 16 団体）

JGRA が構成団体の一員として加盟しております日本ゴルフサミット会議では 2010 年度、下記テーマをもとに活動しております。

1. ゴルフ界は環境問題に積極的に取り組む（新規）
2. ゴルフ場利用税撤廃運動（継続）
3. 国家公務員倫理規程に於ける「ゴルフ」の削除（継続）
4. 楽しくゴルフをしていただくためのキャンペーン活動の提唱（継続）

## 上期の活動実績

平成 22 年 6 月 21 日（月）ホテルグランドパレスにて「ゴルフ場利用税撤廃署名運動」の実施を宣言する合同記者会見を開催しました。日本ゴルフサミット会議を中心に廃止に賛同するゴルフ関連団体の代表者が集まり、JGRA から境野会長が出席をされました。それに併せ、日本ゴルフサミット会議では右記ポスターを制作し、関係団体へ配布しております。JGRA では構成団体としてその主旨的に賛同し、ポスターを当会報誌に同封して会員の皆様にお送り致しましたので、「ゴルフ場利用税撤廃」の実現に向けてポスターの掲載及び署名に御協力くださいますようお願い致します。



署名目標：200 万人  
署名場所：全国ゴルフ場及びゴルフ関連施設等  
署名期間：7 月 1 日～9 月 30 日



## 日本ゴルフサミット会議加盟 16 団体一覧

(社) 全日本ゴルフ練習場連盟、(財) 日本ゴルフ協会、(社) ゴルファーの緑化促進協会の、(公社) 日本パブリックゴルフ協会、(社) 日本ゴルフ用品協会、(社) 日本ゴルフ場事業協会、(社) 日本ゴルフトーナメント振興協会、(社) 日本プロゴルフ協会、(社) 日本ゴルフツアー機構、(社) 日本女子プロゴルフ協会、日本ゴルフ関連団体協議会、NPO 日本芝草研究開発機構、全国ゴルフ会員権取引業団体連絡会、全国ゴルフ場関連事業協会、日本ゴルフコース設計者協会、日本ゴルフジャーナリスト協会（順不同）

## ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）

## 1. 2010 ジャパンゴルフフェア

## 期間中に、ゴルフ市場活性化セミナーを開催

ゴルフ人口の減少が見込まれる『2015 年問題』に対して『2015 年問題を乗り切ろう～ゴルフを「好き」から「夢中」へ～』と題してパネルディスカッションを開催しました。

パネラーとして当連盟横山専務理事も参加し、新規ゴルファー増加に向けての問題点やライトからヘビーゴルファーに変える方法論など業界としての今後の活動についてディスカッションが行われました。



## 2. 2004 年からの GMAC の活動総括が発表されました

「始めよう」「続けよう」「もっとゴルフを」をどのように実践してきたか、会員の皆さまにとっても参考になる内容ですのでご覧ください。

上記の詳細はゴルフ市場活性化委員会ホームページをご覧ください。

⇒ <http://www.gmao.jp/index.html>



## ゴルフ市場活性化委員会加盟 5 団体一覧

(社) 全日本ゴルフ練習場連盟、(財) 日本ゴルフ協会、(公社) 日本パブリックゴルフ協会、(社) 日本ゴルフ場事業協会、(社) 日本ゴルフ用品協会（順不同）

# 支部活動報告

北海道支部	支部長	太田 博視	事務局長	根田 進
	会員数	27名(平成22年4月1日付) 【前年同月比】-1場		
	平成21年度 全体総括	JGRA通常総会が滞りなく終了しました。多くの方の参加とご協力に感謝致します。支部の事業活動が加盟練習場に十分な支援として機能してない。特に、地方の加盟練習場に対し何が出来たか反省しなければならない。		
	平成21年度 活動実績	①JGRA通常総会の北海道開催 ②支部のホームページによる加盟練習場の紹介 ③高齢者対策としてのバス利用ゴルフ会の普及 ④指導者養成研修会の開催		
平成22年度 活動目標	①道内各地域の加盟練習場が加盟している効果として利益を実感できる事業を計画する。 ②事務局の機能を充実するため場所の移動と局員の構成を考慮する。 ③ホームページを充実して価値を高める努力をする。 ④指導者養成研修会を改革し、ゴルフ関連業種を職業として研修を希望する人材の養成機関となるように準備する。 ⑤バス利用ゴルフ会を高齢者対策と支部の財政面からも利用促進する。			

東北支部	支部長	柴山 忠雄	事務局長	柴山 忠雄
	会員数	26名(平成22年4月1日付) 【前年同月比】-1場		
	平成21年度 全体総括	世界的不況は徐々に持ち直しつつあるようだが、数年続いた不況の影響で、娯楽にまだまだお金を使わない傾向は変わらない。そんな時こそ、「JGGAゴルフ大試合」や東北支部主催のオープントーナメントなど初めての試みは、東北のゴルフ業界に良い刺激になるのではないかと思います。また、石川遼プロの影響もあり、ジュニアゴルファーが以前より急増していることは、とても明るい話題です。今こそ「ジュニアゴルファー育成」のチャンスだと思います。その為に「JGRA研修会」で優秀な指導者を育て、ジュニアスクールを充実させる事が、後々練習場の集客に繋がると言えるでしょう。		
	平成21年度 活動実績	①「ミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープンゴルフ」最終日に会場を借りての「ジュニアゴルファー検定会」も恒例となり、過去最高の19名が受験しました。 ②JGGA(社団法人日本ゴルフ用品協会)主催による「JGGAゴルフ大試合」を誘致し、東北で初の開催に漕ぎ着けました。 ③東北支部協力コースとして、東北6県47コースと提携。研修会を毎年各県持ちまわりで開催し21年度は3県で開催。		
平成22年度 活動目標	①東北支部主管による全日本ゴルフ練習場連盟通常総会が成功で終えられよう様に綿密な準備を進めてきた。 ②「ガン撲滅チャリティーJGGAゴルフ大試合」を成功させ、来年以降の継続開催に繋げる。 ③「ルールセミナー」ほか講習会を開催し、研修会の充実を図る。 ④東北支部主催で初のオープントーナメントを今秋開催予定。 ⑤東北で開催予定の各種競技会へ積極的な後援協力を行い、加盟の少ない県へのJGRA周知活動に務める。			

関東支部	支部長	境野 匡	事務局長	近藤 泰隆
	会員数	253名(平成22年4月1日付) 【前年同月比】-12場		
	平成21年度 全体総括	本年度事業活動の3大指針として下記3項目を掲げ活動した。 ①組織強化(会員増強) ②研修会制度の改革(質・量) ③ジュニアゴルファーの育成 上記活動は、経済環境の悪化によりゴルフ界も不振が続き、十分な成果が得られなかった。今後も当支部活動内容の更なる充実化と、会員・非会員を問わず積極的なPR教室活動が必要不可欠である。		
	平成21年度 活動実績	①組織強化 新規入会4場 退会16場 -12場 現会員253場 ②研修会制度改革 回数:学科講習会3回 月例競技会27回 実技講習会3回 運営方法:3日連続3クラス同会場開催 + 「全役員当番制」の導入 選手会提案:研修生用「オリジナル・タグ」作製 ③ジュニアゴルファーの育成 「ジュニア登録制度」の充実化 登録会員35場 登録者数3,436名		
平成22年度 活動目標	①組織強化事業 会員勧誘活動、PR活動、関連団体事業協力活動 ②研修会事業 学科講習会3回 月例競技会27回 実技講習会3回 研修生の質・量の強化拡大 ③スポンサーメンバー事業 「スポンサーメンバー会」の強化 ④広報活動事業 会報誌発行、HP、情報インフラの整備改善 ⑤ジュニア育成事業 「ジュニア登録制度」の強化、「ジュニアゴルファー検定制度」の推進			

株式会社オニット  
ONIT CO., LTD  
ONLINE NETWORK INFORMATION TECHNOLOGY

●ゴルフボール貸出機  
GB-71  
Golf Ball Rental Machine

●セミオートティーアップ機  
パワーショット DIS-2000AT  
Golf Auto Tee-UP Machine

本社 : 0561.54.9971  
東京支店 : 03.5795.5086  
<http://www.onit.co.jp>

練習場では、いつも一緒のオニットです。

関西支部	支部長	恒藤 光夫	事務局長	高木 皓次
	会員数	103 場(平成22年4月1日付) 【前年同月比】+5場		
	平成21年度 全体総括	関西支部の基本的なスタンスは、会員の為の連盟であることを重きにおいて、情報提供を始め会員が出来るだけ参加できるイベントを計画し実施した。		
	平成21年度 活動実績	1) 会員への情報提供 ①ゴルフ専門誌5紙(内雑誌2誌)を毎月初旬に全会員宛に発送 ②会報は年2回(1月、7月)発行 ③HPの充実 適宜更新し斬新な情報の提供を行っている。特に、事務局便りは評判良好。 ④月度営業成績等FAX情報の提供 2) 競技関係では、第18回KGP Uトーナメントの開催、年9回の実技研修会の開催、会員懇親ゴルフ会の開催を例年通り実施。特に、実技研修会では連盟競技委員によるマーシャル巡回も実施し、研修会員のエチケット・マナーの向上に努めている。入退場時のジャケットの着用、プレー時の帽子の着用を義務付けている。現在会員数は140名で過去最高人員となっている。 3) 平成21年度の会計収支は、ほぼ計画通り推移し、若干の黒字が出た。		
平成22年度 活動目標	①広報活動の推進 年2回の会報の発行、月初の情報誌の発送等 ②第2回KGP Uアマチュアゴルフ選手権の開催 平成22年10月27~28日 ザ・サイプレスGC ③第19回KGP Uトーナメントの開催 平成22年7月16日 小野東洋GC ④ゴルフ指導者養成の為の年9回の研修会の実施 ⑤エコキャップ運動の推進			

中四国支部	支部長	森 茂幸	事務局長	廣瀬 利秀
	会員数	10名(平成22年4月1日付) 【前年同月比】-1場		
	平成21年度 全体総括	平成21年度中四国支部は10場でのスタートとなりました。会員拡大が進まない中、中国地方の方々とのコンタクトをとりながら復帰に向けて話し合いを進めているところです。		
	平成21年度 活動実績	第1・2回資格認定プロテスト地区予選会を松山シーサイドカントリークラブで、第3・4回をリージャスクレストゴルフクラブロイヤルコースで、第5・6回をJFK瀬戸内海ゴルフクラブで行いました。残念ながら今回は合格者が出来ませんでしたが、第3次に進んだ選手には30万円を出すことを決めてから選手の気持ちが前向きになった様に思います。 又、研修会主催の第3回プロアマ大会が今年度も開催され多くのアマチュアの方が参加されました。研修生自らが企画、運営するこの大会を今後も続けてまいりたいと思います。		
平成22年度 活動目標	今年度の目標として、懸案事項である中国地方の支部復帰に向けて交流の場を設けながらいい結果が出せるように努力してまいりたいと思っております。			

九州支部	支部長	古賀 正隆	事務局長	奈良崎 一馬
	会員数	32名(平成22年4月1日付) 【前年同月比】-1場		
	平成21年度 全体総括	経済不況の中、来場者関係では全体的に前年実績をクリアしたものの、地区によっては厳しい状況下であり、尚一層の対策が求められる。組織強化対策では、福岡近郊の施設へのアプローチを図ったものの、加盟施設会員が1増2減となり苦慮している。又、会報「連盟便り」を発行及びインターネットの開設により、会員相互の情報交換が図れた。		
	平成21年度 活動実績	1) 会員への情報提供 ①会報の発行～連盟便りの発行を4回実施した。 ②HPの充実を図った。 2) 研修会活動 年6回研修会を開催し、研修会主催でチャリティゴルフ大会を開催(参加者 66名) チャリティ金は北朝鮮拉致被害者協会へ寄付。 3) 経営セミナーの開催 会員を対象に恒例の経営セミナーを開催、今年はゴルフ場の経営者による講演及びインターネットによる集客対策について、当会員より講演頂き好評であった。		
平成22年度 活動目標	①組織の拡大 ②経営セミナーの開催 ③研修会の充実～ジュニア対策検討 ④スクランブル競技会への協力 ⑤HPの充実及び会報の発行(年2回) ⑥地域ゴルフ協会、ゴルフ関連団体との提携			

MERIT ケーディータワーシステム  
5つのメリット

- 1 ボール間隔が拡大され本数を低減  
資料・建設コストの大幅削減
- 2 耐候性鋼材はメンテナンス一切不要  
維持コスト低減
- 3 ボール高さ60m施工可能  
安心を約束する高さで強さ
- 4 高さ60mで3階打席増設可能  
経営効率アップ
- 5 基礎の省スペース施工により  
敷地の有効活用

**KD** ハードとソフトの融合。トータルケアで未来をカタチに。  
**ケーディースポーツ株式会社**  
 建設業許可番号都知事許可第72223号 建築士許可番号都知事登録第37356号  
 〒164-0012 東京都中野区本町6-25-3  
 TEL.03(3382)4441(代) FAX.03(3380)7234

# ケーディータワーシステム

総合設計施工からリニューアル、さらにメンテナンスまで、  
蓄積されたノウハウで「CHANGE THE RANGE!」を実現します。

施工実績などの詳細はKD Web Siteをご覧ください。【URL】<http://www.kdsports.co.jp>



# 今後のJGRAとの 関わりについて

## ゴルフ関連団体の紹介

### 公益社団法人 日本パブリックゴルフ協会



公益社団法人  
日本パブリックゴルフ協会  
会長 浅井 光昭

当協会は、昭和 37 年に「関東パブリックゴルフ協会」として創立、同 39 年「日本パブリックゴルフ協会」として全日本組織化、平成 6 年に社団法人格を取得し（主務官庁：通商産業省）「(社)日本パブリックゴルフ場事業協会」となりました。現在我が国では、平成 20 年 12 月に公益法人制度改革関連 3 法が施行され、公益法人制度改革が進められていますが、当協会は本年 3 月に、スポーツ団体第 1 号として公益社団法人の認定を受けました。また、これを機に法人名称を、「日本パブリックゴルフ協会」に復帰改称し新たにスタートしました。

当協会は創立以来 48 年間、生涯スポーツと言われるゴルフの普及振興を事業目的に掲げ、国民の健康の保持増進、余暇活動の充実等、豊かな国民生活の実現への寄与を目的として活動してきました。今後も協会創立精神であるゴルフの普及振興を引き継ぎ、公益社団法人として公益目的事業を通じて、民による公益への積極的な参画により、社会的責任を果たすべく全力を傾注したいと考えています。

我が国最大のスポーツ産業であるゴルフ業界の実状は、ゴルフ場利用者数、ゴルフ練習場利用者数ともに、最悪期は脱しここ数年増加に転じてお

り、明るさが見えはじめたように思われます。然しながら、中長期的には少子高齢化の加速や人口減から、市場規模は縮小化の方向にあり、引き続き経営環境は厳しいと予想されます。この様な状況の下、新規ゴルファー育成によるゴルファーの底辺拡大、需要創出は喫緊の課題であり、業界関係団体は一層連携を強化し市場活性化に向けた活動を展開すべきであり、当協会もその観点からの活動を推進していきたいと考えています。

その意味では、ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）は、「はじめよう、続けよう、もっとゴルフを」をテーマに、ゴルフ市場活性化に向けた活動を推進していますが、当協会も（社）全日本ゴルフ練習場連盟の皆様と同様に、スクランブルゴルフをはじめとして、初心者が簡単に一歩を踏み出すキッカケ作りを提供する活動を連携させていただいています。

また、会員練習場の皆様には、当協会の公益目的事業である「全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権」等の競技会ポスターを掲示いただいております。今後一層連携を深め、ゴルフ市場活性化に向けた様々な活動を推進したいと考えておりますので、ご協力をお願い致します。

# スポーツ産業浮揚のカギは「新3K」

矢野経済研究所は先頃、「スポーツ用品市場に関する調査結果」を発表した。メーカーから小売店まで約450社を調べたもので、これによれば今年のスポーツ用品市場は1兆2797億円（2.0%減）だったという。苦戦が続くスポーツ用品市場で最大規模のゴルフ用品は、メーカー出荷ベースで2572億3000万円（8.2%減）。低落理由は、ゴルフクラブの低迷である。

リーマンショックの影響を受けた去年は、店頭在庫の換金を急ぐメーカーがマークダウンに血道をあげ、これが新品需要の先食いを招くなどデフレスパイラルに陥った。そして、その流れは今年も続いている。二木ゴルフは、「発売後3ヶ月でマークダウンに走るメーカーも多い。自分で自分の首を絞めている」と陰い声で非難する。

同社の市況感は、10年前と比べて客単価5%減。これに輪を掛けて販売数量が減少するなど、収益悪化は深刻だ。

とはいえ、スポーツ市場全体が軒並み落ちているわけではない。矢野経済研究所はスポーツシューズ（2013億6000万円、0.4%増）とアウトドア（1360億4000万円、3.4%増）、さらにサイクルスポーツ（303億円、7.8%増）を成長分野にあげており、「3Kスポーツ」の未来は明るいと付記している。「3K」とは『健康』『環境』『経済性』——。

同研究所いわく、「特に健康はマーケティングの切り口として有効です。スポーツサイクルの販売が好調なのは、ご主人の健康を気遣う奥さんが『健康関連支出』に寛容なことが大きい。その意味でサイクル業界は、メタボ撲滅の気運を上手にキャッチアップしています」

不況にもかかわらず、サイクル業界の勢いは衰えない。08年の成長率は前年比2割以上のプラスを

記録した。去年は成長率（7.8%増）こそ鈍化したけど、これは母数が増えたため、ブームが一過性ではないことを伺わせる。

ゴルフ業界はどうか？ 関連団体は、ゴルフが健康づくりに寄与することを訴求すべく、歩数計の携帯プレーなどを推奨しているが、市況好天への即効性は認められない。ただし、いくつかのゴルフ関連企業がITと絡めたアクションを推進するなど、個別には動きが出はじめた。

朝日ゴルフ用品は「距離計測器」との連動に注力している。この商品は飛距離を計るだけでなく、ショット履歴や歩数計機能も備えるもの。その購入者を会員化し、同社の専用HPにアクセスすると、スコアアップから健康管理までのあらゆる情報が一元化される。これを会員の付加価値として物販につなげる狙いで、モノとソフトの融合を図る。

横浜ゴムはコナミスポーツと提携して、フィットネス会員とゴルフの連動性を深めているが、興味深いのは某大手衣料品チェーンもゴルフ市場への参入を検討していること。最近の参入事例は、医薬品メーカーのコーワが健康の視点でゴルフアパレルを商品化するなど、ゴルフ業界よりも、むしろ異業種の着眼が一步先んじているようだ。

ゴルフ産業そのものは、スポーツ市場最大規模。それだけに、過去のビジネスモデルや成功体験から容易に脱せない。そろそろ「健康志向」と真剣に向き合い、商機を探る必要がある。

## ■筆者プロフィール

片山哲郎 昭和37年8月3日生まれ。東京都出身。  
「月刊ゴルフ用品界」(www.gew.co.jp)代表、日本ゴルフジャーナリスト協会副会長、ゴルフ市場活性化委員会委員。

# 新規ゴルファー開拓と囲い込みに必要となる 経営手法の検討 その2

近代ゴルフが誕生して、既に250年になる。この間のギアとティーチング手法の進化を調べてみると、1970年代以降急激に加速していることが分かる。今回はこうした進化が、ゴルフ練習場に与える影響と課題について、考えてみる。

## 1. 私がゴルフを始めた頃

私のゴルフ暦も、既に40年を超えている。大学を卒業するまで運動といえば剣道一筋であった私には、ゴルフはとても新鮮で不思議なスポーツに映った。

当時専門の指導者は少なく、カントリー倶楽部に所属するプロゴルファーと、各地に誕生し始めた練習場で活動するアシスタントプロ（プロゴルファーの予備軍）と称する人達が、初心者に対応していた。

私が指導を受けたアシスタントプロの言：「ゴルフは体で覚える」「技術云々はトラックいっばいのボールを打ってから」「プロが使う道具が最高のもの」「難しいクラブが良いスイングを作る」等々……。

精神主義的な色彩の濃い武道でも、初心者指導にはもう少し論理的且つ意欲を向上させるような手法をとっているのに……、と随分戸惑ったものである。

## 2. テクノロジーの進化

近年のゴルフギアの急激な進化は、NASAに負うところが大きい。宇宙開発の過程で生れた新素材が民間に開放され、ゴルフ産業にもカーボン・チタン等が導入された結果、ギアの性能は急速に向上した。

一方でコンピュータの進化は、スイング分析とゴルフギアのフィッティング機能を飛躍的に向上させた。

またゴルフ指導を専門とする多くのティーチングプロが誕生し、ゴルフ練習場を拠点とするゴルフスクールが、全国各地で展開されるようになった。

こうした様々な進化は、ゴルフ市場規模を急速に拡大する一方で、新たな問題点と課題も生みだした。

## 3. ゴルファーが求める究極の命題とは

ゴルフギアの進化は、トーナメント分野における反発を高め、コース改善・ギア性能規制強化とのイタチゴッコを促進した。それでも用品メーカーは旧モデルを遙かに超える性能を謳い文句に、次々と新製品を投入してきた。現在のゴルフギアは素材進化により、耐久消費財的な機能と特性が顕著になっている。

そのため用品メーカーは、新性能を訴求し買い替え需要を喚起することが、唯一の需要拡大手段となっている。

こうした状況下で「究極のゴルフ実現」に対する認識とビジネス手法は、分野毎に乖離が拡大している。

**アマチュアゴルファー**⇒「努力をしなくても最高の満足感が得られるゴルフの実現」 **用品企業**⇒「練習しなくても、誰でも最高の成果が得られる道具の提供」 **ティーチングプロ**⇒「どんな道具でも、最高の結果が得られる技術の提供」 **ゴルフ場**⇒「より多くのコースプレーが、最良の結果をもたらす唯一の手段」。例えば、フルセット30万円の高級クラブのかわりに数万円の中古クラブを購入し、差額費用で「毎週1回以上のレッスンを受ける」「サービス価格を利用し、年間20回以上プレー機会を上積みする」方が、より良い結果を得られるという発想も生れるのである。

こうした環境の中で用品メーカーは、最先端のゴルフスクールとクラブフィッティングシステム、さらにコースラウンドレッスンシステムを導入し、新規需要の創造に取り組んでいるが、そこには様々な矛盾が存在するはずであり、その解消が大きな課題となる。

## 4. ゴルフ練習場のあるべき姿

以上の検証から得られるひとつの結論は、一般的ゴルファーは努力を伴わない最終成果（スコア、飛距離、アミューズメント）を求め、供給側はそのプロセスにビジネス成果を求めるため、絶えず矛盾が生じる。

この矛盾を緩和できる、新たな手法の導入が練習場に必要課題であり、ティーチングプロの役割である。そのような機能を持つ練習場とティーチングプロが増えれば、おのずとゴルファーは増大し、市場は活力を取り戻すことができる。今がまさにその時である。

JGRA NEWS Vol.29 特別寄稿

JSMI 日本スポーツマーケット研究所 所長 廣瀬 恒夫

### ■プロフィール

[プロフィール] 廣瀬 恒夫

昭和18年生まれ JSMI 日本スポーツマーケット研究所 所長、  
社全日本ゴルフ練習場連盟理事、社日本ゴルフ場事業協会理事  
ゴルフ市場活性化委員会顧問 その他

# JGRA「オリジナルグッズ」販売のご案内

japan Golf Range Association

日頃より連盟の活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。この度、JGRA会員の方のみご購入できます「JGRAオリジナルグッズ」をご紹介します。ゴルフ練習場における安全対策やルール・マナーの呼びかけにぜひご利用ください!

## JGRAオリジナルグッズ購入申込書

注文日 平成 年 月 日 出荷希望日 平成 年 月 日

 <p><b>注意!</b> 必ず本表裏面の 説明書をご確認ください</p>	<h3>① 手形注意パネル</h3> <p>練習場の入り口・打席周りなどに設置してください。 付属でボルトナットがついていますので簡単に取り外しができます。</p> <p>サイズ／縦250×横165(mm)    <b>注文数</b>    個 単 価／525円(税込)            <b>金額</b>            円 (単価×注文数)</p>		<h3>⑤ マナーポスター</h3> <p>場内におけるマナー向上を促すポスターです。 練習場の入り口・打席周りなどでご使用ください。</p> <p>サイズ／縦418×横594(mm)    <b>注文数</b>    個 単 価／210円(税込)            <b>金額</b>            円 (単価×注文数)</p>
	<h3>② 事故防止ステッカー</h3> <p>場内における事故防止を促すステッカーです。1枚に4種類の注意文が書かれており、非常に便利な商品となっております。</p> <p>サイズ／縦450×横250(mm)    <b>注文数</b>    個 単 価／126円(税込)            <b>金額</b>            円 (単価×注文数)</p>		<h3>⑥ ジュニア育成協力練習場看板</h3> <p>ジュニア育成協力練習場の看板です。 登録済み練習場が対象となります。</p> <p>サイズ／縦285×横325(mm)    <b>注文数</b>    個 単 価／8,000円(税込)            <b>金額</b>            円 (単価×注文数)</p>
	<h3>③【お願い】マナーステッカー</h3> <p>場内におけるマナー向上を促すステッカーです。 状況に応じて場内に使用することができます。</p> <p>サイズ／縦340×横60(mm)    <b>注文数</b>    セット 単 価／376円(税込)            <b>金額</b>            円 ※1セット(4種)からの販売です。            (単価×注文数)</p>		<h3>⑦ マナー看板</h3> <p>丈夫で長持ち。 何度も買い替える必要のないアクリル製のマナー看板です。</p> <p>サイズ／縦545×横815(mm)    <b>注文数</b>    個 単 価／16,800円(税込)            <b>金額</b>            円 (単価×注文数)</p>
	<h3>④【ご注意】マナーステッカー</h3> <p>「長尺クラブ」「打球」についての注意を促すステッカーです。打席周辺でご使用ください。</p> <p>サイズ／縦285×横46(mm)    <b>注文数</b>    セット 単 価／126円(税込)            <b>金額</b>            円 ※1セット(2種)からの販売です。            (単価×注文数)</p>		<h3>⑧ 分煙ポスター</h3> <p>分煙を促すポスターです。 デザインが異なる2種類のポスターを用意しております。</p> <p>サイズ／縦420×横296(mm)    <b>注文数</b>    セット 単 価／525円(税込)            <b>金額</b>            円 ※1セット(2種)からの販売です。            (単価×注文数)</p>
<h2>合計金額</h2>			<p>円</p>

切り取り線

練習場名	
担当者	
住所	〒
電話番号	(       )       —
Eメール	@

### ■お申込方法

申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください。

### ■お支払い方法

指定郵便振替口座にお振り込みください。  
入金を確認でき次第、商品を発送させていただきます。  
※振替手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

### ■商品の発送方法

発送は宅配便で送料は着払いとさせていただきます。

郵便振替口座番号:00190-7-538154  
口座名(加入者名):社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟

### ■お問い合わせ先

(社)全日本ゴルフ練習場連盟 事務局 田坂陽介  
電話番号/03-3486-0753 Eメール/jgra@gol.com

# FAX 03-3486-0756

# JGRA年間スケジュール予定表

# JGRA SCHEDULE

	JGRA		他団体との協議・後援協力
	会議	事業	会議・後援名義・ポスター・掲示・人派遣
2010 4月	13日(火)ジュニアゴルファー育成委員会 (宮城県:JGRA関東支部会議室) 27日(火)広報委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室)	22日(木)第49回(社)全日本ゴルフ練習場連盟研修会会員選抜大会 (栃木県:那須野ヶ原カントリークラブ)	第44回全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技(名義使用・ポスター・掲示協力) 第10回全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技(名義使用・ポスター・掲示協力) 第16回全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技(名義使用) 第17回全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技(名義使用) 第7回全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技(名義使用) 第4回全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技(男子部門・女子部門) 15日(木)ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)(東京都:キャロウェイ会議室) 17日(土)ガン撲滅チャリティ2010JGGAゴルフ大試打会(宮城県:宮城ゴルフガーデン)(名義使用・ポスター・掲示協力)
5月	11日(火)ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 24日(月)広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)		6日(木)~9日(日)ワールドレディスチャンピオンシップサロンバスカップ(茨城県:茨木ゴルフ倶楽部)(ポスター・掲示協力) 12日(水)日本ゴルフサミット会議(東京都:JGA会議室) 16日(日)~17日(月)第10回日本片マヒ障害オープンゴルフ選手権大会(茨城県:ホワイトパチカントリークラブ)(名義使用・ポスター・掲示協力) 18日(火)ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)(東京都:キャロウェイ会議室)
6月	8日(火)第19期通常総会 (宮城県:仙台国際ホテル) 9日(水)懇親ゴルフ(宮城県:利府ゴルフクラブ) 11日(金)ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室)	8日(火)第5回優秀指導者表彰制度発表表彰 (宮城県:仙台国際ホテル)	5日(土)第8回スナックゴルフ対抗戦JGTOカップ(茨城県:尖戸ヒルズC.C.)(後援名義) 16日(水)ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)(東京都:キャロウェイ会議室) 21日(月)日本ゴルフサミット会議合同記者会見「ゴルフ利用税徴収署名運動」(東京都:ホテルグランドパレス)
7月	5日(月)ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 8日(木)広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室) 事業推進委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)	30日(金)「会報」発行	14日(水)日本ゴルフサミット会議(東京都:JGA会議室) 15日(木)ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)(東京都:キャロウェイ会議室) 26日(月)~9月5日(日)ゴルフフェスタCHIBA(ポスター・掲示協力) 29日(木)~8月1日(日)サンクローレクラシック(小樽C.C.:北海道)(後援名義)
8月	ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室) 事業推進委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)		ゴルフ市場活性化委員会(GMAC) JGC執行委員会
9月	ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)		24日(金)~26日(日)第38回ミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープンゴルフトーナメント(宮城県:利府ゴルフクラブ)(名義使用・ポスター・掲示協力) ゴルフ市場活性化委員会(GMAC) JGC執行委員会
10月	ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室) 事業推進委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)		15日(金)第50回(社)全日本ゴルフ練習場連盟研修会会員選抜大会(兵庫県:小野グランドC.C.) ゴルフ市場活性化委員会(GMAC) JGC執行委員会
11月	ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室) 事業推進委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)	ジュニアゴルファー検定委員サポーターセミナー (東京都:国立オリンピック記念青少年センター)	ゴルフ市場活性化委員会(GMAC) JGC執行委員会
12月	ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室) 事業推進委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)		17日(金)~19日(日)スポーツサイエンス・テクノロジー2010(東京ビッグサイト)(名義使用・ポスター・掲示協力) ゴルフ市場活性化委員会(GMAC) JGC執行委員会
2011 1月	ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室) 事業推進委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)		「会報」発行 ゴルフ市場活性化委員会(GMAC) JGC執行委員会
2月	ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室) 事業推進委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)	JGRAゴルフ練習場ビジネスセミナー(東京ビッグサイト) ジュニア検定員認定講習会・事業場認定会(東京ビッグサイト)	18日(金)~20日(日)ジャパンゴルフフェア2011(東京ビッグサイト) ゴルフ市場活性化委員会(GMAC) JGC執行委員会
3月	ジュニアゴルファー育成委員会 (東京都:JGRA関東支部会議室) 広報委員会(東京都:JGRA関東支部会議室) 事業推進委員会(東京都:JGRA関東支部会議室)		ゴルフ市場活性化委員会(GMAC) JGC執行委員会

## 考えていますか? 貴方のリタイメントプログラムを!



ナイスクラブは日本とハワイのゴルフ会員権をお取り扱いしています。  
私どもゴルフ会員権の【ナイスクラブ】は・・・  
人生100歳時代を迎え、これからの健康維持に大切な“歩くことから始まるゴルフ”と、  
心身ともにリラックスできる場所をご提案、価値ある価格でご案内いたします。

日本とハワイのゴルフ会員権の事ならなんでも  
お問い合わせ下さい。  
名門ゴルフコースの視察プレー等も承っております。  
ハワイ/オアフ島 ホノルル CC  
ハワイ/オアフ島 ホアカレイ CC  
ハワイ/マウイ島 ザ・キング・カメハメハ・GC

どうぞお気軽にお問い合わせください!

麹町 ナイスクラブ

関東ゴルフ会員権取引業協同組合員  
代表取締役 亀田 敦子

〒102-0082 東京都千代田区一番町 6-2-103  
TEL:03-3238-0053 FAX:03-3238-0377

E-mail:info@niceclub.co.jp http://www.niceclub.co.jp

## ● 広告出稿会社 お問い合わせ先リスト

会社名	担当部署	所在地	TEL	URL
ブリヂストンスポーツ株式会社	お客様コールセンター	〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7 大森ベルポートE館	0120-116-613	http://www.bs-golf.com/
スナガ開発株式会社	営業部	〒326-0333 栃木県足利市間屋町1160-5	0284-72-8181	http://www.sunaga-g.com/
第一ゴルフ工事株式会社	営業部	〒158-0081 東京都世田谷区深沢7-18-23	03-3702-3136	http://www.d-g-k.com/
株式会社オニット	東京支店	〒157-0096 東京都世田谷区玉川台1丁目1番地3-201号	03-5797-5086	http://www.onit.co.jp/
KDスポーツ株式会社	営業部	〒164-0012 東京都中野区本町6-25-3	03-3382-4441	http://www.kdsports.co.jp/
麴町ナイスクラブ	営業部	〒102-0082 東京都千代田区一番町6番地2-103	03-3238-0053	http://www.niceclub.co.jp/
有限会社パロモ	営業部	〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台1-10-1	04-2950-2050	
SRIスポーツ株式会社	お客様専用フリーダイヤル	〒651-0072 兵庫県神戸市中央区脇浜町3-6-9	0120-653-045	http://golf.dunlop.co.jp/
日本シーエディー株式会社	特機事業部	〒161-0033 東京都新宿区下落合2-14-1 CADビル	03-3232-4111	http://www.super-shot.jp/

## ● 社団法人全日本ゴルフ練習場連盟 本支部事務局住所録

本部事務局	所在地	TEL	メールアドレス	会長名	事務局
〒150-0001	東京都渋谷区神宮前6-2-6 原宿あかねビル205号	03-3486-0753	jgra@gol.com	境野 匡	田坂 陽介
支部	所在地	TEL	メールアドレス	支部長名	事務局
北海道支部	〒003-0027 北海道札幌市白石区本通り1丁目北3-34 インドアゴルフサミー内	011-868-6166	info@sammygolf.net	太田 博視	根田 進(局長)
東北支部	〒989-3206 宮城県仙台市青葉区吉成台2-24-25 宮城ゴルフガーデン内	022-278-2035	range@miyagigolf.co.jp	柴山 忠雄	柴山 忠雄(局長)
関東支部	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-2-6 原宿あかねビル205号	03-3406-4305	info@jgra-k.com	境野 匡	近藤 泰隆(局長)
関西支部	〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満3-5-1 和田伊ビル202号	06-6364-3901	kgpu@gaea.ocn.ne.jp	恒藤 光夫	高木 皓次(局長)
中四国支部	〒760-0002 香川県高松市茜町27番29号 高松青春ゴルフセンター内	087-861-0734	seishun@arrow.ocn.ne.jp	森 茂幸	森 茂幸(局長)
九州支部	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-7-3 早月M博多306号	092-414-0606	kgra@lep.bbq.jp	古賀 正隆	奈良崎 一馬(局長)

# 編集後記

サッカーW杯南アフリカ大会で、岡田武史監督率いる日本代表は海外開催の大会で初のベスト16入りという快挙を成し遂げましたね。戦前では、親善・練習試合で思うような結果が残せず、連日ネガティブな報道される中、ベスト16という成績を予想できた人は少なかったのではないのでしょうか。

各メディアの論評に目を通すと成功のポイントとして「監督の采配」「チームの組織力」が優れていた事が多く挙げられています。取り分けてチームの組織力は世界的に見ても水準は高く、全選手の守備・攻撃の意思統一とそのプレーは強豪オランダをあと一歩のところまで追い詰めました。この組織力については、W杯南アフリカ大会で勝利をしている多くのチームに見られる傾向であり、個を重んじ個人技に頼るチームは強豪であれ、予選で敗退する傾向が多く見られました。

我々JGRAに於いては年々会員が目減りするなかで会員獲得の為の新規事業やPR活動を行ってきましたが、思うような結果が残せない状況が続いておりました。ここはひとつ日本代表になぞらえ、現状を底辺と受け止めて本部・支部・会員の連携をより密なものにし、現状を打破すべく進んでいきましょう。

読み人知らず

# 嬉しいデザイン広告、制作承ります！

- ・ 広告・デザイン・印刷・看板・ホームページ作成・パンフレット・会社案内・パッケージ
- ・ リーフレット・チラシ・ポスター・広報誌・記念誌・グラブ誌・カレンダー・情報誌
- ・ ロゴマーク・イラスト名刺・ハガキ・カード・DM・封筒・各種伝票・Tシャツプリント
- ・ 食品関連印刷・メニュー・ステッカー・シール・のぼり・各種看板・建設用シート
- ・ テント案内板・垂れ幕・フロア広告・車両広告・車両アート



**PALOMO**  
有限会社 パロモ

埼玉県狭山市狭山台1-10-1 TEL.04-2950-2050 FAX.04-2950-2055

**有限会社 パロモ**  
〒350-1304 狭山市狭山台1-10-1  
TEL 042-950-2050  
FAX 042-950-2055

●電車ご利用の場合  
西武新宿線(本川越)行き  
狭山市駅下車  
(朝急・急行・特急も停車します)  
東口より(狭山台団地)行きバス(①②)  
終点(狭山台団地)下車徒歩1分  
※①は日数本の「新狭山駅南口」行きがあります。  
その場合は徒歩1分はあまります。ご注意ください。



# 最新の技術と設備から生まれるダンロップレンジボール。

その性能は多くの練習場様にご好評いただいております。

## High Quality & High Technology

ご要望にお応えする多彩なラインナップ

タイプ	モデル名	特徴	推奨練習場
ツーピースボール	DDH SP SOFT	よりソフトなツーピース	ネットまでの距離が長くよりソフトな打感を重視する大型練習場に
	DDHエフェル	水に浮くフロートタイプのツーピース	水上練習場ややわらかいボールを好む練習場に
	DDHソフト420	フィーリング重視のツーピース	ネットまでの距離が長くフィーリングにこだわる大型練習場に
ワンピースボール	スタンダードSF	スタンダードタイプのソフトワンピース	室内から大型練習場まで幅広く
	ソフト	非常にソフトで飛距離を抑制したワンピース	ネットまでの距離が短い練習場に
	低弾道	弾道と飛距離を抑制したワンピース	ネットからの飛び出しを心配される練習場に
	ディスタンス	優れた飛距離とソフトフィーリングのワンピース	飛びを重視する大型練習場に

※注: ゴルフ規制(ルール)上は、両面にボールマーク(品名)を入れた場合のみR&A公認球となります。 ※飛距離(キャリア)は、無風状態の時にヘッドスピード40m/sでドライバーで打撃した場合のデータです。

## ダンロップレンジボールの特長

- 抜群の耐久性** ダンロップレンジボールの真価はその耐久性にあります。カット、繰り返し打撃に対して強く、また、独自のペイントがハードな打撃や洗浄から美しい外観を守り続けます。
- 高い均一性** ダンロップレンジボールは、原材料の受け入れから製品出荷まで、優れた管理体制のもとで生産されていますので、品質と性能のパラツキが少なく、高い均一性を誇っています。
- 心地よい打球感** ナイスショットのフィーリングは、ゴルフの醍醐味です。ダンロップレンジボールは、ラウンドボールに近い打球感を持っています。心地よいインパクト感と響きわたる打球音が、お客様に好評です。
- 高度な弾道設計技術** ダンロップは、様々な使用状況をシミュレーションし、レンジボール用ディンプルを設計しています。ラウンドボールに近い弾道のボールを中心に、弾道を低く抑えたボールまで、あらゆるニーズに対応できるバリエーションを揃えております。
- 美しい外観** ラウンドボールと同様のきれいな外観が長期間持続します。
- ※マーキングデザイン:** お客様のニーズに最新技術でお応えします。マークのデザインによってはスタンプできない場合もありますので、あらかじめ販売代理店にご相談ください。



これからのゴルフ練習場に必要なのは

# 快適な空間です。

新開発のチェーン式横コンベアは通路部スペースをすっきりと、開放感のある空間にいたします。

After



Before



After



## CADが提案するアメニティコンセプト

### Concept 1

#### 「チェーン式横コンベア」

- コンベアはボールを一列で搬送。
- ボールタンクはボールを整列制御。
- 故障も少なく、保守もラク。
- ボールタンク、コンベアの埋設により、すっきりと静かな練習環境。

埋設型施工例



SS-3100 (全自動ティーアップ装置)

### Concept 2

#### 「総合管理システム」

- 打球管理から顧客管理までフルサポート。
- 入金・釣銭管理からカード発行、運用まで無人でもサポート。
- 音声ガイド、携帯フロントで、確実、迅速に顧客対応。
- 万一の故障にも営業可能な安心システム。



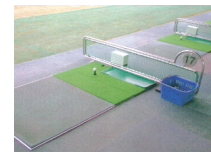
タッチパネル式自動予約・入金機

## ゴルフ練習場の様々なニーズにお応えします。

### タフな半自動ティーアップ装置



SS-1000W

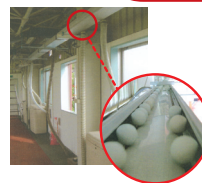


SS-850W



SS-950P

### 多様な営業形態をサポート



空中型チェーン式横コンベア



CADスクール管理システム



CADボールバンダーシステム

◆15年の実績、技術集団からの提案です。

**CAD** **日本シー・エー・ティ株式会社** [特機事業部]  
Better Than Others

本社 ■ 〒161-0033 東京都新宿区下落合2-14-1 CADビル  
TEL : 03-3232-4111 (代表)  
URL : <http://www.ncad.co.jp/> <http://www.super-shot.jp/>